

A.Sharp の立体(5)

中川宏

シャープの立体 No.5 は、12枚の菱形と24枚の扇形からなる36面体である。菱形の短い対角線および扇形の短い対角線の長さを等しく、向かい合う菱形面間距離の3分の1に設計されており、正六角錐を8つ融合したような立体である。No.1のシャープヘドロンの双晶ともいえる。

私が作る際には、中間形として切稜立方体を作る。元の立方体を106.66とすると、切稜面間距離は100である。次に正方形面の対角線と六角形面が3つ集まる頂点からなる三角錐を切り取る。その角度は19.77度である。

